



刊夕日一月十

日刊 印刷 編輯 人 川崎 文 治 本社 下 同 番 地 (電話 六三〇番) 印刷 所 常 務 日 報 社 電話 六三〇番

定 一 部 金 貳 錢 一 月 金 五 錢 一 年 金 五 十 二 錢 一 行 休 日 日 曜 大 祭 福 島 縣 石 城 郡 平 町 長 橋 町 三 五 番 地 發 行 所 常 務 日 報 社 電 話 六 三 〇 番

標商錄登

醬油 味噌 鰹節 罐頭食品

屋問造製

社會名合崎山屋鹽

電話 營業部 一〇番 工場 二七番

洋食店讓り度し

平町目抜の場所、居抜きに備にて
格安御相談に應ず

姓名在社

帝國興信所

平通信部
平町白銀町十五

博愛病院

平町田町横丁(横内耳鼻科醫院跡)

外科 耳鼻科 咽喉科 小兒科 産婦人科 泌尿器科 藥局

日本醫學士 河井壽雄
日本醫學士 河原英雄
顧問 村島耕造
主任 北村馬次郎

入院の設備あり

代診至急入用

原齒科醫院

院長 原精一
副院長 石田仁

平町土橋通り 電話三二二番

賣れ行きが事實を證明する
品質聲價共に拔群の!!

磐城セメント

磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵 釜屋商店
金物問屋 釜屋商店
磐城平町五丁目 電話九番 一三九番

良品質廉賣り勝る商畧なし
確實敏捷は釜屋の生命なり

第二病室 高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

平町田町 電話五一三番

不思議によく
養命酒

横森醫學博士推薦
一圓二圓
山野邊藥局
平町五丁目角

平町紺屋町(縣社通り)
美味 伊豆キ食堂
オの部電話四六〇番

看護婦派出の求めに應ず

平町南町
看護婦會
電話三〇七番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雜誌が
自由に讀める
川崎 回文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

常 警 論 壇

内閣自滅の日近し

政界通人

承前

けれども其の結果として憲政會が多年主張し來れる所の政策は勿論現内閣の標榜せる政綱は殆んど實行することが出来ず爲めに國民の信望はいやが上にも失墜し加ふるに徹底せる不景氣の爲めに實業界方面の現内閣に對する不人望は想像の外に甚たしく更に松島事件を初め復興局事件、鶴見事件、長野事件、更に朴烈事件と現内閣の綱紀肅正の政綱を裏切る不祥事件が相續いで

起つてをるので政府は政治的にも經濟的にも全く行詰り最早其地位を保持せんとするも能はざる状態に陥り此の儘第五十二議會に臨むなどいふことは到底不可能であるし萬一議會に臨んでも解散の結果は憲政會の大敗に歸すべきこと明瞭であるから如何に無茶な若槻内閣でも到底解散を斷行するの勇氣はないであらう、さて現内閣倒潰後政權は何れの政黨に歸するかと云へば勿論政友會の外ないのであつて世間の一部に於ては動もすれば田中總裁の不人氣を理由として政友會内閣の出現を否認せんとするもの

引き留めは却つて

恩師の爲めならず

西巻教頭の辭職に就いて

山崎教諭語る

磐城中等学校教頭西巻盛雄氏は今回突如辭表を提出した。同教頭は常に生徒間に慈父の如く親しまれ崇敬の的となつて居ただけに、

生徒等

の驚きは一方ならず何んとか留任の運動を爲さんと動き出した。同校教諭山崎宣吉氏は西巻教頭の辭表提出の事情に就いて語る「辭表の提出は事實です、私等も母校の爲めに前後三回に亘つて留任を

勧告し

たのですが氏が郷里の石川中學校の首席に選まれてゐる爲強ひて引き留めては却つて迷惑をかけることになるから、惜むべき人ではあるが氏の前途を考慮して手を引いた次第です、この辭職について種々なる噂をしてゐるものがあるといふが

事情が

右のやうな譯で、暗闘などは全然ないことを私が斷言しておきます」と語つた。西巻教頭は相續人であるため郷里の實家から屢々學校をやめて歸宅せよとの手紙が來てゐるといふことであり其のために氏は此際やめるご意を固めたものであるといふ、氏は着任以來生徒の受験に就て極力努め遂に上級校への受験成績が非常

山林講演會

平町に開く

來る十五日より三日間平町に開く本縣木炭品評會の出品は總數千五百點以上に達する見込みで審査長として農商務省技師山下祥一郎氏任命されたが十七日の縣山林大會には縣内各地より會員千餘名參集すべく山林に講演會も開催さるべく盛況を豫想されてゐる

標識をばめた

鳥を捕へたら

平署に届けて貰ひたい。數日中に脚に標識をはめた鳥類が平地方に飛んで來るかも知れない、夫れは農林省が鳥類の習性其他を調査する爲めに放鳥したものであつて若し是れを捕獲した場合は捕獲鳥の種類と捕獲した年月日及び其場所を平署に届出て貰ひ度といふ

平町の傳染病減る

近く再び閉舎

平町傳染病隔離病舎は去る

八月十四日一度閉舎しその後二週間を出でずして患者續出したため再び患者を收容すると共に平町では平署と協力豫防に努めた結果、

富岡から平町迄

ヅブ濡れになつて

十四の少年平署に保護願

いん奔な母に捨てられ

本日午前十時頃一名の少年が降る雨に頭からヅブぬれとなり平署に飛び込み受付口にて署員に申立てた處によると双葉郡富岡町新田岡田キクの悴吉春(一)と稱し

同人の

父は數年以前死亡し母と共に細い煙りを立てて居たが母には情夫が出來て去る廿五日夜吉春を獨り殘した儘情夫と共に何れへか逃走行術を晦まじた爲め水戸市の知り合へを訪ねて身の置き所を相談なさんと去る廿八日出發

山野に

打ち伏しつ

徒歩にて本日漸く平町にたどり着いたが疲勞のどん底に陥り平署に保護を願出たものにて同署にては直ち



家庭欄

魚のウニ焼

魚は一人あての切身として鹽をふりかけしばらく経て水洗ひしてふきんでふき、クシにさしておきウニは大

縣下署長異動

- 白河署長 伊藤儀七
- 命警察練習所長 小松 周
- 二本松署長 原吉三郎
- 飯坂署長 原吉三郎
- 命二本松署長

不平受付

投稿歓迎 近頃の南町(特に平館通り)の酌婦の風紀紊亂は何んどした事ですか、料理店○○の如きは通りへ出て中學生であらうが誰であらうが無理強ひに引きずり込む事も巡回の調査や刑事が○○されるもか店先まで寝さすべつて女將とふざけた(愛町の土)目撃しました(愛町の土)

天氣豫報

(日二)曇り

皮のない方にウニを小はけにて塗つけ更に火にあぶり一寸かわかしてクシを抜き皿にもり前に酢づけした小カブを取出してしぼりトウガラシを一分位の小口切としてカブの中央にのせ上より指にて強く押し乱菊の形として魚をもり合せます

求人ご

大變な開き

平町の職業紹介所は不景氣の關係もあらうが兎に角閉散で今年一月から開始された少年職業紹介所は多大の期待をもつて迎へられたにも拘わらず今日までに男女各十數名の申込みがあつたに過ぎぬしかもそれすらやとわれる者、やとふ者いづれも異つた考へど希望を持つてゐるのでなから、兩者の要求通りに行かず紹介所でもホトホト持て

何年間ご

年期を定

あましてゐる、なほ近來は時代の變遷で親達の頭も大部變り

町是調査

近く總會を

平町では水道の水源涵養をはかる植林事業小住宅の拂底を緩和する町管住宅小學校の統一商業學校の敷地移轉町管火葬場設置等多年の懸案となつてゐる各種計畫の基礎を定むるため先に町是調査委員を擧げたが右のうち教育部だけ一回委員會を開いたに過ぎない然し本年内に植林及び火葬場の施設如何を解決すべく佐藤助役は去月初旬以來數回石城郡箕輪村地方へ出張實地調

豊間へ電話

來る十一日から

石城郡豊間村に電話を開通された旨同村より請願せらるは既記の如くであるが今

施術時間改正

十月二日より毎日午後一時より午後二時廿分迄一般患者の施術の需めに應ず

濱口熊嶽師施術所

平町平劇場に於て

平町人事

- 出生
- △仲間町二六 野木善助氏三男裕
- △月見町一九 根本正尚氏三男力夫
- △胡麻澤一〇 大谷友一氏二男明
- △死亡
- △立町二五 松本ツタエ(五つ)